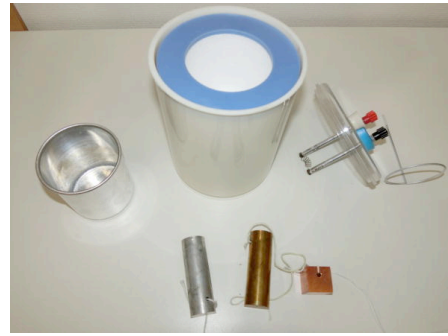


## ■実験機器情報■ 水熱量器（アーテック社）

【購入意図】水熱量計を使う実験は、1960年代以降、授業で行われており、高校の物理準備室には古いものが眠っているところも少なくない。物理基礎が必修になったことから複数個（班の数）の買い替えが必要となってくるだろう。熱源として電力を使う場合はある程度しっかりしたものがほしいので、廉価な本製品を購入し、テストを試してみた。



【製品名・価格】アーテック社 水熱量器 定価 2,650円

<内容>外容器（発泡スチロール）、内容器・攪拌器・電力供給端子（アルミ）、ニクロム線（10, 20）・ゴム栓

【使用結果】本格的なもの1台（教師用）と生徒実験用の本製品をセットで準備しておくと、高校の物理基礎までカバーできる。

<優れている点>廉価（複数セットでも大手のものより安価）、

<改善すべき点>ゴム栓の材質